

令和 3 年 1 月 5 日

都道府県歯科医師会 御中

公益社団法人 日本歯科医師会

毎日新聞（令和 2 年 12 月 29 日朝刊）の記事  
「B型肝炎 歯科で差別 2 割 申告の患者『後回し』」について

今回の標記記事は、歯科医療の臨床現場を代表する本会に取材がなく、共通理解のないまま報道され、現在コロナ禍で不安を募らせる国民に誤解を招く部分があることは、遺憾とするところです。

本会は、記事の内容を精査し、毎日新聞社にはその旨申し入れを行い、歯科記者会には添付の内容で本会の認識を公表していますので、取り急ぎご報告申し上げます。

令和3年1月5日

歯科記者会 御中

公益社団法人 日本歯科医師会

毎日新聞（令和2年12月29日朝刊）の記事  
「B型肝炎 歯科で差別2割 申告の患者『後回し』」について

今回の標記記事は、本会に取材がなく、共通理解のないまま報道され、誤解を招く部分があることは遺憾とするところであり、毎日新聞社にはその旨申し入れをしたところです。

本会は、感染防止については、従前より標準予防策を必須として取り組んでいるところであり次のような対応をしています。また今回のコロナ渦でも、歯科治療を通じたスタッフ・患者間の院内感染事例は報告されておらず、感染防止対策はさらに充実しているものと認識いたします。

○研修会

- ・医療安全研修会（隔年開催）
- ・厚生労働省委託事業 歯科医療関係者感染症予防講習会（毎年全国6箇所開催）
- ・日歯生涯研修事業（e-learningによる感染予防対策セミナー）

○配布資料

- ・歯科診療におけるHIV・HBV・HCV感染予防対策Q&A（会員向けホームページ）
- ・院内感染予防対策Q&A（会員向けホームページ）

感染防止対策は、「ここまでやれば良い」というゴールのある議論ではなく、常に新たに課題がでてきますが、本会としては、今回のコロナ対策も検証し、いっそうの感染防止対策を徹底するとともに、患者さんが不快な思いや誤解を抱かれぬよう周知をして参ります。またこれらの対応に対して、必要な評価も引き続き求めて参ります。